

第10回

再エネ講座 公開研究会

脱炭素先行地域によるまちづくりシンポジウム
(高橋産業経済研究財団助成研究)

2024年2月28日(水) 16:30~19:30



ZOOMウェビナーによるオンライン開催

申し込み https://us02web.zoom.us/join/register/WN_pf931nJqRO6D7AOwYUwqCw

先進的な取り組みで注目されている脱炭素先行地域の3つの自治体の発表と
京都大学の日本版シュタットベルケに関する学術研究の発表を通じて
脱炭素先行地域によるまちづくりと日本版シュタットベルケの可能性/将来像を探ります

プログラム

※敬称略
※終了時刻は若干前後する場合がございます

16:30~16:35 挨拶 諸富 徹 (京都大学経済学研究科)

3つの自治体からの脱炭素先行地域のまちづくりに関する事例発表 (16:35~17:35)

16:35~16:55 発表 井上 博成 (飛騨高山電力株式会社 代表取締役)
「岐阜県高山市での脱炭素先地域の取り組みとこれまで自身の森林における取り組み」

16:55~17:15 発表 三上 巧 (宮古市エネルギー・環境部 部長)
「岩手県宮古市の脱炭素に向けた取り組み~再生可能エネルギーで持続可能なまちへ~」

17:15~17:35 発表 藤川 まゆみ (NPO法人上田市民エネルギー 理事長)
「ローカル鉄道を市民がともに支え合う『ゼロカーボン×交通まちづくり』」

日本版シュタットベルケに関する京都大学側研究チームの学術研究発表 (17:35~18:35)

17:35~17:55 発表 太田 隆之 (静岡大学)
「(仮)脱炭素化を図る上での公営電気事業の役割と機能の検証」

17:55~18:15 発表 白石 智宙 (広島修道大学)
「『日本版シュタットベルケ』とケーブルテレビ事業の可能性」

18:15~18:35 発表 鈴木 伸 (京都大学博士後期課程)
「フィンランド自治体財政における公営エネルギー事業—日本版シュタットベルケへの示唆」

18:35~19:30 総合討論 (コーディネーター: 諸富 徹)

お問い合わせ: 京都大学大学院 経済学研究科 再生可能エネルギー経済学講座
〒606-8501 京都市左京区吉田本町

[TEL] 075-753-3474(直通) [FAX] 075-753-3492(代表) [MAIL] ree.kyoto.u@gmail.com

[URL] https://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/stage2/top/